



事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	鉾田市立旭東小学校 テテーマV 第1学年1組31名 第2学年1組32名 第3学年1組27名 第4学年1組30名 第5学年1組35名 第6学年1組35名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (学級活動) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○「I'm POSSIBLE」を活用し、オリンピック・パラリンピックについての理解を深め、意義や歴史に関して意欲的に学ぶ態度を育成する。 ○フェンシング体験教室を通して、スポーツに対する興味・関心を向上させ、スポーツを楽しむ心を育成する。
5 取組内容	1事前学習 「I'm POSSIBLE」の活用  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○「パラリンピアン香西選手ってどんな人だろう」 コンピュータ室にて座学で学習。写真は5年生の授業風景。 </div> 2オリンピックとの交流 フェンシング 千田健太氏 ① 第I部講演 全児童 190名  

	<p>② 第Ⅱ部フェンシング体験教室 ・デモンストレーション ・児童 風船割体験 各学年3名ずつ</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・構え、基本動作の練習 全児童 ・プラスチック剣によるミニゲーム（6年生全員35名） 一対一形式でのゲーム形式で実施。プラスチック剣が専用ベストに当たるとヘルメットのランプが一定時間点滅し、ポイントが入ったことが理解できる。剣がプラスチックであり、顔もガードがついており、安全でなおかつフェンシングの体験が容易にできる。
6 主な成果	<p>○アンケートの主な変容（オリンピックとの交流前 11 月末→1 月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきらめずに最後まで頑張ることができていますか。 「はい」59.2% → 65.2% ・休み時間に積極的に外で運動していますか。 「はい」68.4% → 77.2% ・業間運動に一生懸命取り組んでいますか。 「はい」56.1% → 70.7% <p>○本校はスポーツが大変盛んであり、児童は空手やキックボクシングなど12種目のスポーツ少年団に所属している。朝や業間において、持久走や短縄跳びなどに自主的に取り組んでいる児童が多い。アンケート結果からは、7月と12月の比較ではどれも微減であったが、1月末にとった結果では大きく増加した。これはオリンピック・パラリンピック推進事業の効果であり、千田さんの講演によって、児童の頑張る意欲が高められた成果である。特に、業間運動への取り組みは大変素晴らしく、熱心にスポーツに取り組む児童が増えてきている。</p> <p>○2月に予定している縄跳び大会に向けて、なわとびが苦手な児童に熱心に教えたり、励ましたりするなど、温かい声かけをする児童が増えた。</p>
7 実践において工夫した点（事業の特色）	<p>○事前に、「I'm POSSIBLE」を活用し、オリンピック・パラリンピックについての理解を深めた。昨年度も実施していることから、児童も興味・関心をもって取り組むことができた。</p>
8 主な課題等	<p>○昨年度はインフルエンザ急増で計画を大幅に変更したが、今年度はインフルエンザの発症もなく、全児童で体験教室を実施することができた。時期においては十分に配慮する必要がある。千田氏のご助言でプラスチック剣でのミニゲームを実施したが、時間的に6年生だけの体験となってしまった。できるだけ全児童の活動をしっかりと計画したい。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>○三年連続で実施校に選んでいただき、貴重な体験を積むことができた。来年度も実施校を要望する予定である。今年度当初計画予定していた、実践テーマⅢである「スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築」に取り組みたいと考えている。</p>